

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	兵庫県立大学		設置区分	公立
学校種	大学		都道府県	兵庫
大学全体の総収容定員	5,188 名	※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	国際商経学部（国際商経学科）、社会情報科学部（社会情報科学科）、工学部（電気電子情報工学科、機械・材料工学科、応用化学工学科）、理学部（物質科学科、生命科学科）、環境人間学部（環境人間学科）、看護学部（看護学科）			
事業計画名	兵庫県立大学将来構想推進事業			

2. 事業概要

社会情報科学部では、情報科学の確かな基礎知識・技能を身につけ、データ分析を通して社会的価値を創造する人材を育成している。そして、質・量ともに不足が叫ばれる、最先端の知識と技術を身に付けた高度IT人材、DXを推進する人材を輩出するため、入学定員100人から160人へと定員増を行い、データ分析および数理情報の強みを生かした教育研究を展開する。特に本学大学院情報科学研究科との連携を一層強化することにより、高度な知識や技能に加え、広い視野を持ち、多様な分野の価値創造に貢献できる人材を養成する。 環境人間学部では3つの新学科群を新設する。 グリーンサイエンス学科は、兵庫県の中山間地域における新しい農林業技術を開発する「次世代アグリ」、気候変動下での生物資源の保護と利用を考究する「生態系サービス」、環境負荷の少ない自然エネルギーや再生可能資源の活用を目指す「新資源・新エネルギー」、緻密な温暖化モデルや災害シミュレーションを行う「環境リスク評価」を重点分野とし、従来の理・農学系の学問領域にデジタル技術を導入した新しい教育プログラムを構築する。 建築学科では、建築学をコアに建物の計画・構造・環境を扱う「建築デザイン」と、建物が立地する都市や農村の空間計画、不動産の利活用を問う「地域マネジメント」を両輪とする。 食環境栄養学科では、生産から消費までのフードチェーンと自然・地球環境との相互作用を考究する「食環境創造」と、病者や健常者、アスリート等様々な人間の栄養状態を最適に保ち人生100年時代を支える食を科学的根拠に基づき提案する「先端医療栄養」の二つの重点分野を持つ教育プログラムを提供する。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部の収容定員の増加					
設置等組織名	社会情報科学部					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	兵庫県神戸市					
入学定員	160 名					
収容定員	640 名					
入学定員の増加数	60 名					
他学部等の入学定員の減少数	60 名					

改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部における学科の新設					
設置等組織名	環境人間学部グリーンサイエンス学科					
設置等組織の学位分野	農学関係	理学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	兵庫県姫路市					
入学定員	50名					
収容定員	200名					
入学定員の増加数	50名					
他学部等の入学定員の減少数	50名					

改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部における学科の新設					
設置等組織名	環境人間学部建築学科					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	兵庫県姫路市					
入学定員	50名					
収容定員	200名					
入学定員の増加数	50名					
他学部等の入学定員の減少数	50名					

改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出の別	届出					
改組内容	既存学部における学科の新設					
設置等組織名	環境人間学部食環境栄養学科					
設置等組織の学位分野	農学関係	理学関係	-	-	-	-
当該学部等の所在地	兵庫県姫路市					
入学定員	40名					
収容定員	160名					
入学定員の増加数	40名					
他学部等の入学定員の減少数	40名					



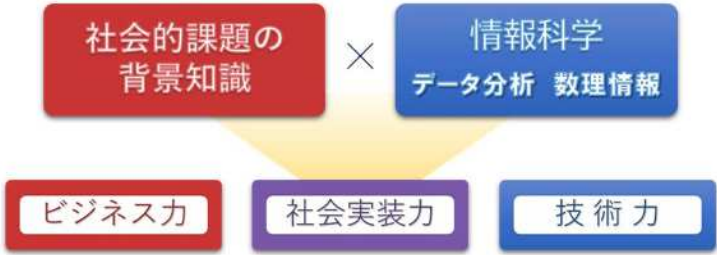
事業計画名 兵庫県立大学将来構想推進事業（社会情報科学部）					
基本情報					
改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	兵庫県立大学社会情報科学部	入学定員増数(合計数)	60
所在地	兵庫県神戸市	改組内容	既存学部の収容定員の増加	入学定員減数(合計数)	60

<社会や地域のニーズ・課題>

- 日本においてDXを推進する人材が量・質ともに不足。※ 2022年調査で量・質ともに「大幅に不足している」と回答した企業が約50% (DX白書2023)
- 兵庫県内においても、DX の推進に取り組む上での障害として、コストやデジタル人材の不足、DX に関する知識不足と考える企業が多い。（ひょうご経済・雇用戦略（2023～2027年度））

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- 2019年4月に開設。データサイエンスの教育研究を行う学部として国公立で3 番目
- 情報科学の確かな基礎知識・技能を身につけ、データ分析を通して社会的価値を創造する人材の育成
- データ分析（人工知能、機械学習等）、数理情報（アルゴリズム、数理最適化等）に強み



- 本学大学院情報科学研究科と密接に連携し、最先端の知識と技術を身に着けた人材の養成。2023年度卒は1/3以上が大学院に進学

<連携を通じた教育体制の整備>

- 新長田ブランチの開設（2024年10月予定）による、産学連携、共同研究の推進
- 近隣大学、高校との連携。附属中学校、高等学校との連携

<教育内容・育成する人材像>

- 情報科学を軸にした教育を展開し、確かな知識・技能、実践的な情報処理能力とデータ分析能力を身につけ、社会の諸分野で貢献する人材を育成
 - ・ 1 年次後期にPBL演習Ⅰ，2 年次前期はデータ分析演習を行い，2 年次後期にPBL演習Ⅱを実施
 - ・ DS教育に理解のある企業や自治体等から，社会の最前線で活躍する方々を講師に招き，職業ロールモデルやビジネスモデルを学ぶ



- 今後情報科学研究科との連携を強化，基礎科目（数学，プログラミング等）の充実を図る

<多様な入学者の確保>

- 文理融合型入試の実施（一般入試（前期日程・後期日程）において，数学Ⅲを選択問題として出題）
- 附属高校特別選抜の実施

事業計画名 兵庫県立大学将来構想推進事業（環境人間学部）

基本情報

改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	兵庫県立大学環境人間学部	入学定員増数(合計数)	140
所在地	兵庫県姫路市	改組内容	既存学部における学科の新設(グリーンサイエンス学科・建築学科・食環境栄養学科)	入学定員減数(合計数)	140

<社会や地域のニーズ・課題>

兵庫県は、南北を海に接し、県土の7割近くを森林が占めるなど、**豊かな自然資源**に恵まれている。一方で、500万人を超える人口の6割が阪神地域に集中し、**大都市と山間部の両方の生活圏が存在**することから、日本の縮図ともいえる以下の課題やニーズが生じている。

- ① **地方産業の停滞**や生態系サービスの劣化、気候変動がもたらす自然災害等のリスク評価
- ② 大量生産により生じる**食品ロス対策**や環境に負荷をかけない**廃棄物の有効利用**
- ③ 時代環境と地域特性に応じた**新しい暮らし方の模索**と、**地域課題解決人材**の育成

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- 兵庫県をモデルとし、気候変動下の社会構築に向けて、3つの新学科群を設立する。
- ・ **グリーンサイエンス学科**は、農学系/理学系の新学科として、大学院進学を視野に入れた教育研究活動を行う。重点領域として、持続可能な新農法を開拓する「**次世代のアグリビジネス**」、気候変動下の「**生態系サービス活用**」、再生可能な「**新資源・新エネルギーの開拓**」、気象災害等を将来予測する「**環境リスク評価**」の4領域を設置する。
 - ・ **建築学科**は、建築学をコアに建物の計画・構造・環境を扱う「**建築デザイン**」と、建物が立地する都市や農村の空間計画、不動産や地域資源の利活用を問う「**地域マネジメント**」を両輪とし、空き家問題やゼロカーボンシティに代表される社会的要請にも積極的に取り組む。
 - ・ **食環境栄養学科**では、生産と消費までのフードチェーンと自然・地球環境との相互作用を考究する「**食環境創造**」と、様々な人々の栄養状態を最適に保ち人生100年時代を支える食を科学的根拠に基づき提案する「**先端医療栄養**」の教育プログラムを提供する。

<教育内容・育成する人材像>

- ・ グリーンサイエンス学科は、技術面と応用面に強い環境学の専門家を育成する。専門科目は、**生物圏、地圏、水圏、大気圏の視点から物化生地を網羅**する内容で構成し、**実験・実習・演習科目による実践的学び**を介して、専門性の高い技術力を身につける。卒業研究では大学院進学を見据えて**農学・理学的な観点からの地域課題や環境問題の解決**に取り組む。
- ・ 建築学科は、**文系の学生であっても理系化を進めて建築士の資格を取得できる**よう、必要な指定科目を提供する。さらに学科を超えて健康、生態、文化、歴史、社会、経済、環境に関わる科目提供を行うことで、**幅広い学問を習得した建築士**の教育体制を整える。
- ・ 管理栄養士国家試験出題基準(ガイドライン)や管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラムを準拠しつつ、**持続可能な食環境に貢献できる管理栄養士**を育成する。生産者や企業と協働するフィールドワークを展開することで、**実践的な食研究や食文化の学び**を提供する。卒業研究ではエビデンスに基づく持続可能な食環境を探索する。

<連携を通じた教育体制の整備>

- ・ 近隣の農家、自治体(兵庫県・姫路市など)や研究関連機関(県気候変動適応センター、健康科学研究所、建築士会など)、民間企業と**PBL型の授業や専門職講演会**を実施する。
- ・ 県立の農林水産技術総合センターや農業大学校との合同演習を通して、**有機農業など環境創造型の農林業技術を学びカリキュラム**を提供する。
- ・ 得られた成果を地域の産業として社会実装するため**芸術文化観光専門職大学との単位互換制度**、を新設する。

<多様な入学者の確保>

- ・ いずれの学科においても、多様な入学者の確保にあたり、附属中学・高校をはじめとする**中高連携教育**を行う。
- ・ **トライやる・ウィークによる中学生の受け入れ**やサイエンス・オープンラボの開講、近隣の**スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校の指導**を行い、研究マインドを持った優秀な理系人材を発掘する。
- ・ **文系選択の高校生にも入学の門戸**を拡げて、新たなニーズを開拓する。

兵庫県立大学環境人間学部改革構想（グリーンサイエンス系・建築系・食環境系学科設置計画）

VUCAの時代をしなやかに生き、「すべての人に、豊かな暮らしと環境を。」を真に実現できる人材育成へ！
～人間学を基軸として、社会包摂で持続可能な人間社会と自然環境のあり方を探索し、新時代の建築と食を展望する～

